



学校だより

令和6年12月25日

東京都立石神井特別支援学校
校長 中島 由美子

今年の漢字は「金」、オリンピック・パラリンピックが話題となりましたが、何といても本校では「学習発表会」でした。発表に至るまでの積み重ねの過程を含めて感動を与えてくれた一人一人の子供たちが光り輝く、まさに「金」です。

学習発表会では、普段の授業で学習してきたことを舞台（ステージ）という場で、たくさんの人が見てくださっている中で発表すること、普段の力を出しきることが一つの大きな目標でしたが、見事に達成することができたと思います。いつも以上に張り切り自信をもって発表したり、校内発表以上に緊張したりする様子もありました。子供たち、私たちにとってもワクワクドキドキ、たくさんの豊かな心が躍動した、かけがえのない体験となりました。

保護者や関係の皆様には、温かい声援を送っていただきありがとうございました。

～学習発表会 各学年の様子～



◆小学部 1年

初めての発表ががんばりました。明るく楽しくできました。



◆小学部 2年

素敵な音楽隊。落ち着いて最後までやり切りました。



◆小学部 3年

活発な動きとしなやかな動き、見事な発表でした。



◆小学部 4年

シックな装いに元気あふれる音楽、サンバも元気いっぱい楽しく踊りました。



◆小学部 5年

息の合ったムカデ歩きやサーキット、バスケなどはつらつと発表できました。



◆小学部 6年

友達と協力し合ったり、最後の大人っぽいダンスも堂々と発表できました。



◆中学部 1年

縄跳びや組体操、アップテンポンの全員ダンスは圧巻。教員も揃いのTシャツで一球となって発表しました。



◆中学部 2年

パリの風漂う優雅な合奏とはじける日本の踊りなど、メリハリのある発表に心が高鳴りました。



◆中学部 3年

お琴や三味線、和太鼓の演奏にソーラン節、最後は卒業に向け期待とさみしさが込み上げてくる発表でした。

都立石神井高等学校との音楽交流会（12月17日）

本校から歩いて12分ほどの所にある都立石神井高等学校、吹奏楽部16名の生徒の皆さんが来校し交流しました。参加した中学部1年生は、華やかな三角帽子を付けて楽器演奏や軽快なダンスと歌を堂々と披露しました。高校生の本格的な生演奏も見事でした。高校生による本校校歌の演奏は手話とともに一緒に歌い、両校一体となってハーモニーを奏でました。校歌を作曲された長瀬清正様も参観され、開校以来41年ぶりの校歌を聴き感激されていました。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト

著名なスペシャル講師からスポーツや音楽の楽しさを体感し、笑顔がいっぱいでした。

◇中学部（12月16日）

元全日本女子バスケットボール代表の大崎祐圭様を迎え、スポーツの楽しさを味わいました。オリンピックなど世界で活躍するプレーヤーになるという夢を叶えるために、一日一日の目標を達成しながら練習を積み重ねる、チャレンジの大切さも伺いました。プロの道は一朝一夕には成しえず。講師とハイタッチで触れ合うなどの楽しい時間となりました。

◇小学部（12月20日）

「歌のお兄さん」と声優の本名陽子様に来てくださって、本格的なスペシャルコンサートを楽しみました。『カントリーロード』の歌声にうっとりしたり、講師と元気に歌の掛け合いをしたり触れ合ったり事前に振付を練習して、体育館中に音の世界が広がりました。子供たちの音楽への取り組み姿勢が素晴らしいとほめていただきました。感動で涙をにじませる教員や子供たち。たくさんのありがとうの花が咲いた、幸せなひと時でした。

2学期もたくさんの御協力をいただきありがとうございました。3学期も強くしなやかな身を育み、次の目標達成、一人一人のさらなる飛躍を楽しみにしております。

様々な行事があった2学期も、本日が最終日となりました。今学期も子供たちの健康管理や学習準備等に御協力をいただき、ありがとうございました。

さて、12月7日に実施いたしました学習発表会はいかがでしたでしょうか。子供たちは一人一人、発表当日に向けて日々の学習を高めてまいりました。実力を存分に発揮できた子、緊張や不安から成果を発揮しきれなかった子供たちもいたと思います。また、今回は体調不良により残念ながら欠席となってしまった子も複数いらっしゃいました。それでも、日々一人一人が取り組んできた学習の成果は、本人たちの中に確実に経験として積み重なっていると実感しています。当日はたくさんの御声援をいただき、ありがとうございました。

年末年始は交通安全や感染症等に十分御注意いただくとともに、規則正しい生活を心がけ元気にお過ごしください。

1月8日に元気な子供たちに会えることを楽しみにしております。 副校長 佐藤 匡郁